



2016年12月5日発行 NO.22

「社会保障の解体は許さない！憲法を守りいかす社会をつくろう！！」

STOP！介護改悪 介護ウェーブ2016推進ニュース -介護の“Big Wave”を広げよう！-

11月11日を前後に、各地で「介護ウェーブ2016」の取り組みが行われました。



福島民医連

11月12日、わたり福祉会では、福島駅前にて「介護ウェーブ」を実施し、介護保険制度の改悪中止を求める署名の呼びかけを行いました。11月11日の介護の日に合わせたもので、今年で8回目になります。当日は55名の役職員が参加し、チラシを渡しながら街行く人に訴え、署名を呼びかけました。事前に学習し、若手の職員も積極的に通行人の方、一人ひとりに自分の言葉で声をかけていました。特に要支援者の切り捨て、利用料の2割負担、特養入所者の制限といった改定に伴い、「利用料が増えるのは困る」「自分が介護してもらうかもしれないから」「知り合いが介護をしているから良く分かるので」と多くの方が足を止めて署名をしてくださり、関心の高さがうかがえました。当日は、245筆の署名を集めることができました。誰もが安心して老後を迎えるために、あって良かったと思える介護保険制度となるよう、今後も継続して活動していきます。



東京民医連

東京民医連第6回介護を担う管理者・職責者講座を10/15、11/12の2回に分けて開催しました。11/12の第4講座は全日本民医連・山田智副会長を講師に「医療・介護の連携と地域包括ケア」について学びました。





山梨民医連

山梨勤医協の在宅ケアセンター甲府・竜王と、勤福会の共立介護福祉センタ

ーたから・いけだ・わかまつの各介護事業所の職員を中心に、総勢 40 名で宣伝行動を行いました。介護現場の切実な声をリレートークで訴えました。足早に通り過ぎようとした男性は、「介護っ！？介護の署名じゃ、しておかなくっちゃ」と署名をしてくれました。立ち止まってわざわざ戻ってきて署名をしてくれる方が多く、いつもより嬉しい駅前宣伝行動でした。山梨民医連と認知症の人と家族の会山梨県支部と協力して、電話相談を行いました。相談は、介護に苦労されている話を聞いてほしいという思いの電話や、家族がストレスを感じ虐待や暴力に至りそうな内容の相談もありました。また、県民大運動の自治体キャラバンも実施され、各事業所から地元自治体を、県連・勤医協事務局は郡内地域各自治体を訪問し、医療・介護問題などで担当者と懇談し、要求を伝えました。共同組織との取り組みでは、各病院の近隣地域の住民の全戸訪問を行い、安心して暮らせる地域づくりアンケートに取り組みました。突然の職員の訪問にも関わらず高齢者が嬉しそうにいっぱい話しかけてきて話が弾み、訪問先から帰ってきた職員はみんなが生きいきとしていました。



高知民医連

11/12(土)に帯屋町にて病院の職員 5 名・本部職員 3 名・介護事業所職員

5 名、計 13 名でちょっとぎやかに宣伝行動を実施し 132 筆の署名が集まり介護チラシの配布もできました。プラスターのぼりも立てて宣伝しました。署名を訴えると、介護はよく分からんという声が多く聞かれ、「使い方が分からないので使ってない」という杖をついた高齢者の方や「私も介護事業所で働いています。こうした改悪は困ります」と快く署名をしてくれた若い介護職員もいました。11/19 現在、署名目標 2000 筆に対して、1349 筆（内職員 1133 筆）まで一気に集まっています。既に 5 介護事業所が目標を達成し、今までにない反響が他事業所や利用者さんからも続々と寄せられています。引き続き広げていきましょう！！

ヘルパー虹の取り組み紹介：各ヘルパー最低 10 筆を目標に取り組んでいます。15 名なので 150 筆。訪問時に利用者にお願いしたり、担当者会議の場や娘の職場や友人にも声掛けし 40 筆集めた職員もいます。「一言カード」利用者さんの声を拾い上げています。12 日の宣伝行動にも参加して 150 筆達成。





鳥取民医連

介護福祉委員会では、25日の委員会終了後に鳥取生協病院リハビリ職員、メディコープとつとりの職員と一緒に街頭宣伝行動を行いました。今回行った署名は、「介護保険制度の見直しに対する請願署名」です。今年は2016介護チラシの配布、横断幕・メッセージボードを掲げるなどし、利用料2割負担の対象を拡大、要介護1,2の生活援助の切り下げなど今後のさらなる給付の削減・負担増の内容、利用者から「生活援助を減らされたら生活が成り立たない」「利用料が2割になったらサービスを減らさざるを得ない」などの声を訴え、署名活動に取り組み、27名の参加で32筆の署名が集まりました。



宮崎民医連

宮崎医療生協『いい介護の日』介護相談と介護署名を行いました。介護

相談でテレビ局2社より取材！18件の介護相談を受けました。NHKとMRTの取材が入り、お昼に放映されるとその後は電話殺到となりました。4名のケアマネージャーが交代で対応し、『10年前に脳梗塞を発症。最近認知症が心配です』『回復期病棟に入院しており、介護保険申請中です。2ヶ月後に退院するが、退院後のリハビリを続けるにはどうしたらよいか』『国保保険料・介護保険料が高い。何とかならないのか』『近隣に家族が住んでいるが診てもらうつもりはない、近くの施設を調べておきたい』などさまざまなケースに追われていました。宮崎地区では、20名で148筆を集めました。「介護に不安がある」「利用料2割負担になると生活ができないくなる」など声が寄せられました。延岡地区では10名で128筆を集め、中には募金と間違えてお財布を出される方もいらっしゃいました。「協力したいと思っていた」「ありがとう」とお礼を言われる方もおりました。



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：東、小又
TEL03-5842-6451/FAX03-5842-6460 E-mail：min-kaigo@min-iren.gr.jp

